

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7999 URL <https://www.mutoh-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 磯邊 泰彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 福富 弘悦 TEL 03-6758-7100
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,067	△17.1	△591	—	△425	—	△1,146	—
2020年3月期第3四半期	12,148	△14.4	△350	—	△343	—	△339	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △891百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △253百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△251.91	—
2020年3月期第3四半期	△74.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,054	20,020	80.2
2020年3月期	26,869	21,113	75.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,286百万円 2020年3月期 20,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年2月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想、並びに特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△13.2	△570	—	△400	—	△1,200	—	△263.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年2月12日）公表いたしました「通期業績予想及び配当予想、並びに特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,054,818株	2020年3月期	5,054,818株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	499,964株	2020年3月期	505,096株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,553,009株	2020年3月期3Q	4,549,852株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済環境は、世界中に拡大している新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見えない中、段階的に経済活動が再開されておりましたが、感染症再拡大によって経済活動が制限される国や地域が出てくるなど、先行きは非常に不透明となっております。米国経済は、製造業の生産が持ち直し傾向にあるものの、活動規制の強化により雇用と消費の回復は停滞しております。欧州においてはユーロ圏主要国において新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により、上向きつつあった景気は再び減速に転じ、英国では昨春並みの厳格なロックダウンを実施するなど、厳しい情勢が続いています。中国は、活動制限により個人消費の回復は遅れているものの、政府の経済対策や外需の回復による輸出拡大が景気を下支えし、GDPは新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準を上回るまで回復しております。国内経済においては、景気は一部に持ち直しの動きがみられましたが、再度の感染拡大により、経済活動の停滞は長期化傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは、生産調整、流通在庫・保有資産の圧縮、経費の抜本的見直しなどキャッシュ・フローを重視した施策を推進して参りました。さらに新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化をにらみ、稼ぐ、削る、防ぐ、の3つの視点で開発・製造・販売を行うと共に、働き方改革に取り組み、新常态下での新しい経営の姿を模索しています。

大判インクジェットプリンタ事業においては、当社初の自社開発RIPソフトウェア『VerteLith』を2020年11月より市場投入しました。今後とも進化・発展する同製品の併用により、当社プリンタの性能・操作性を最大限に引き出すと共に、ユーザーのワークフロー全体の効率性・利便性を高めて参ります。また、米国にて6つの製品が『2020 Product of the Year Awards』（PRINTING United Alliance主催）を受賞し、9年連続での同賞の受賞に続いて、欧州にて小型フラットベッドUV LEDプリンタの「XPJ-461UF/661UF」の2機種が欧州デジタルプレス協会（EDP）における『Best Object Printer』賞を受賞いたしました。同賞は、デジタル制作プロセスに焦点を当てた欧州の主要な20の業界誌が、欧州市場に導入されたその年の最優秀製品を評価、審査、表彰したものです。スピード、品質、使いやすさ、機能性の向上につながる技術のイノベーション、あるいは、環境負荷やユーザーコストの低減につながるイノベーションなど、製品が提供する新しい技術的価値を評価、判定しています。MUTOHはこれからも最先端の技術と特徴のある製品を展開し、新しいアプリケーションを提供して参ります。

3Dプリンタ並びに設計計測機器においては、従来の商流での販売活動減退を補うためにインターネット販売に注力するとともに、オンラインの特性を活かした海外の著名アーティストと3Dプリンタの可能性に関するディスカッションセミナーの開催や、当社グループ製品での実際の活用事例セミナーなど積極的に展開しております。また、外部委託している生産の一部を自社生産に移行し、工場稼働率の改善と物流の集約による収益力の強化に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響による経済活動制限の影響を強く受け、販売が減少したことにより、100億67百万円（前年同期比17.1%減）となり、営業損益は、販管費を前年同期に比べ7億70百万円削減したものの、販売減の影響を吸収しきれず5億91百万円の損失（前年同期は3億50百万円の損失）となりました。経常損益は、助成金収入および替差益等の計上により、4億25百万円の損失（前年同期は3億43百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別損失で減損損失5億82百万円、法人税等63百万円などの計上により、11億46百万円の損失（前年同期は3億39百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は240億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億15百万円の減少となりました。

流動資産は142億70百万円となり、14億48百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2億69百万円、たな卸資産の減少11億38百万円等であります。

固定資産は97億83百万円となり、13億66百万円の減少となりました。その主な要因は、土地の減少7億67百万円、建物及び構築物の減少1億55百万円、無形固定資産の減少4億90百万円、投資有価証券の増加99百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は40億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億22百万円の減少となりました。

流動負債は25億74百万円となり、18億円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少13億10百万円、未払金の減少1億33百万円、未払法人税等の減少1億24百万円、賞与引当金の減少80百万円、製品保証引当金の減少31百万円等であります。

固定負債は14億59百万円となり、78百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の増加37百万円、役員退職慰労引当金の減少31百万円、繰延税金負債の増加5百万円、その他固定負債の増加67百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は200億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億92百万円の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払い1億59百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失11億46百万円の計上による利益剰余金の減少13億6百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億8百万円、為替換算調整勘定の増加47百万円、退職給付に係る調整累計額の増加42百万円、非支配株主持分の増加7百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により世界的に経済活動が大きく縮小している中、調達・生産・販売・物流の大幅な遅延や停滞のリスクにさらされておりますが、本日、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、算定いたしましたので、通期業績予想を公表いたしました。売上高140億円（前年比13.2%減）、営業損失5億70百万円（前年は5億97百万円の損失）、経常損失4億円（前年は6億円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失12億円（前年は10億15百万円の損失）とし、売上高が減少している中、利益面の影響を最小限に抑えるべく、在庫の削減と販売規模に見合った固定費体質を目指した施策を実施し、通期営業損益の改善を最重要課題として取り組んでおります。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、財務構造や将来の事業展開を勘案しつつ内部留保の充実を図り、かつ、業績に応じた配当を継続的に実施することを基本方針としております。

このような方針のもと、株主の皆様の日ごろのご支援にお応えすべく、当期の配当金は30円00銭とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,472	7,636
受取手形及び売掛金	2,871	2,601
商品及び製品	3,145	2,381
仕掛品	46	72
原材料及び貯蔵品	1,441	1,041
その他	781	580
貸倒引当金	△39	△43
流動資産合計	15,719	14,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,890	1,734
機械装置及び運搬具(純額)	51	52
工具、器具及び備品(純額)	54	38
土地	2,450	1,683
リース資産(純額)	48	27
有形固定資産合計	4,496	3,537
無形固定資産		
その他	569	79
無形固定資産合計	569	79
投資その他の資産		
投資有価証券	5,576	5,676
差入保証金	31	32
退職給付に係る資産	265	281
繰延税金資産	194	175
その他	20	4
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	6,083	6,167
固定資産合計	11,149	9,783
資産合計	26,869	24,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,489	1,179
未払金	449	316
未払法人税等	169	44
賞与引当金	163	82
製品保証引当金	142	111
その他	961	840
流動負債合計	4,375	2,574
固定負債		
繰延税金負債	122	128
退職給付に係る負債	1,040	1,077
役員退職慰労引当金	37	6
その他	179	247
固定負債合計	1,381	1,459
負債合計	5,756	4,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	3,064	3,058
利益剰余金	10,792	9,486
自己株式	△1,323	△1,308
株主資本合計	22,732	21,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△98	9
為替換算調整勘定	△1,988	△1,941
退職給付に係る調整累計額	△259	△217
その他の包括利益累計額合計	△2,346	△2,148
非支配株主持分	726	734
純資産合計	21,113	20,020
負債純資産合計	26,869	24,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	12,148	10,067
売上原価	8,168	7,097
売上総利益	3,980	2,969
販売費及び一般管理費	4,330	3,560
営業損失(△)	△350	△591
営業外収益		
受取利息	15	30
受取配当金	10	8
助成金収入	—	84
為替差益	—	24
持分法による投資利益	6	15
その他	10	12
営業外収益合計	43	176
営業外費用		
支払利息	1	4
売上割引	1	1
支払補償費	30	—
為替差損	2	—
遊休資産費用	—	4
その他	0	0
営業外費用合計	36	10
経常損失(△)	△343	△425
特別利益		
固定資産売却益	1	27
投資有価証券売却益	106	10
子会社清算益	7	—
特別利益合計	115	37
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	1	4
投資有価証券評価損	22	4
減損損失	—	582
特別退職金	—	41
その他	—	10
特別損失合計	23	644
税金等調整前四半期純損失(△)	△251	△1,032
法人税等	54	63
四半期純損失(△)	△306	△1,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	50
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△339	△1,146

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△306	△1,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	80
為替換算調整勘定	△85	45
退職給付に係る調整額	66	41
持分法適用会社に対する持分相当額	17	36
その他の包括利益合計	52	205
四半期包括利益	△253	△891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294	△949
非支配株主に係る四半期包括利益	40	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。